

MENU

- 1 会長ごあいさつ p1
- 2 活動のご報告 p2
- 3 事務局より p5

ごあいさつ

日本港湾経済学会中部部会
会長 林 上



2015年度の日本港湾経済学会中部部会の研究報告会と総会が8月19日に開催され、多くの方々にご参加いただきました。また翌週の8月26日から28日にかけて大阪商業大学を会場に日本港湾経済学会が開催され、全国から港湾研究者が集まり議論をいたしました。中部部会では名古屋港の背後地域の産業集積や四日市港のコンテナ貿易などに関する報告がなされました。大阪の学会では阪神港の現状と課題がメインテーマでしたが、一般の報告もいくつかあり、活発な議論が交わされました。私も名古屋港における木材取扱地区の変遷について報告をしました。学会初日には大阪港のコンテナ埠頭の見学会があり、これにも多数の参加者がありました。毎年、この時期には港湾に関する学会が集中し、夏という季節と港湾のあり方を考えることが何やら結びついているような気がしないでもありません。プールが一年を通して利用できる今日、水泳は夏とは限りませんが、やはり夏は海へ出かけることが多く、海や港について考える季節としてふさわしいのかもしれませんが。

日本港湾経済学会では、ここ数年、東アジア経済の急激な発展の中で日本の港湾の相対的地位が低下してきていることについて議論が行われています。基本的に、港湾それ自体には生産機能はなく、港湾は背後地域の生産や消費によって影響を受ける存在です。ただしその影響は一方向ではなく、港湾の物流機能の質の高さは背後地域の生産や消費にも影響を与えます。背後地域というと港湾の直接的な背後圏をすぐに思い浮かべますが、大規模な船舶が国際的スケールで就航している現代、背後地域が国外にも及ぶ場合さえあります。これが今日、トランシップ輸送や国際的ハブ港が話題に登ってくる背景だと思われます。直近の背後地域の生産や消費が大きくなっても、トランシップ輸送で取扱量を稼ぎ、中継機能で都市や地域を支える港湾も、港湾としてはありえます。しかし、雇用が維持できる国際競争力の強い生産機能や大きな消費市場を維持していこうと考えるなら、中継港湾に負けない質の高い港湾を目指すのが王道だと考えます。

(次ページに続きます)

(前ページから続きます)

ところで、少子高齢社会を反映してか、多くの学会で会員の平均年齢が上昇傾向にあります。日本港湾経済学会でも中部支部でもまったく同じことがいえます。産業構造、人口構造、学問研究の構造は互いに無関係とはいえ、国力の相対的低下がこれら全体と絡んでいるように思われます。港湾経済学会だけでどうにかなるものではありませんが、新しい時代に向けて港湾がどのように対応すべきか、研究者の年齢には関係なく究明すべきテーマは多いと考えます。今回の日本港湾経済学会では、サッチャー政権のもとで港湾の民営化を強力に進めたイギリスの事例が報告されました。またスエズ運河を通らず、ランドブリッジを利用しながら地中海と航海を結ぶイスラエルの事例も報告されました。真の国際戦略港湾とはこのようなものかという印象をもった参加者も多かったように思われました。世界には知るべき港湾が実に多いことを、いまさらながら認識した次第です。

2015年10月

活動のご報告

平成27年度 中部部会総会及び研究報告会

平成27年度 日本港湾経済学会中部部会 総会及び研究報告会を
平成27年8月19日(水)に名古屋港湾会館にて開催いたしました。

開会の辞・挨拶

総会及び研究報告会の開催に先立ち、林会長よりご挨拶を申し上げるとともに、日本港湾経済学会本部より、副会長の同志社大学の石田信博様にご臨席賜り、ご挨拶のお言葉をいただきました。



開会の辞【林会長】



挨拶【石田副会長】

研究報告会では、中山恵子氏（中京大学）による司会進行のもと、下記の方よりご報告をいただきました。

- ① 山田 恵里 氏（近畿大学）
「国内港湾で取り扱う品目の多様性と地域産業の生産活動に関する研究」
- ② 西村 一彦 氏（日本福祉大学）
「港湾サービスの生産性向上に対する技術構造波及効果の推定」
- ③ 別府 孝文 氏（株式会社三重銀総研）
「四日市港における外貿コンテナ貨物の取扱と四日市港利用優位圏の変遷」

また、それぞれの報告について予定討論者の河上哲氏、山田光男氏、岡良浩氏との活発な意見交換が行われました。



研究報告会の様子



司会の中山 恵子 氏



山田 恵里 氏



西村 一彦 氏



別府 孝文 氏

総会では、以下の議事について審議をし、すべて議案どおり承認いたしました。

- 議事 1：平成 26 年度事業報告、決算及び監査報告について
- 議事 2：役員改選について
- 議事 3：平成 27 年度事業計画及び予算について

懇 親 会

総会及び研究報告会終了後、名古屋港湾会館にて懇親会を開催いたしました。

林上会長の挨拶に続き、功労会員である眞継隆氏の乾杯の音頭により懇親会が始まりました。今回は特別企画として、中川運河における取組についてご紹介をさせていただきました。

法人会員・個人会員の皆様をはじめとして31名の方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。



眞継隆 氏による乾杯



中川運河の取組についての紹介



懇親会の様子



懇親会の様子

事務局からのお知らせ

会費納入のお願い

法人会員の皆様におかれましては、今年度の年会費を納入して頂きありがとうございました。個人会員の方で、まだ、今年度の会費の納入がお済みでない方へは、請求書を送付させて頂いております。

つきましては、個人会員会費の納入を、お手数ですが以下どちらかの指定口座まで請求金額をご確認の上、10月末までにお振込み頂きますようお願い申し上げます。

※個人会員会費は年額1,000円となっておりますが、納付状況により請求金額が異なりますので、必ず、請求書をご確認ください。

【振込先①】

三菱東京UFJ銀行



名古屋港支店（店番号292）

普通預金 口座番号 0633227

日本港湾経済学会 中部部会

【振込先②】

ゆうちょ銀行



記号 12160

番号 44997141

日本港湾経済学会 中部部会

日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

配信停止を希望される場合は、お手数ですが配信停止の旨を右記までご連絡ください。

■ 日本港湾経済学会中部部会 事務局 ■
名古屋港管理組合 企画調整室 企画担当内

担当：栩木、都築

〒455-0033 名古屋市港区港町1番11号

TEL:052-654-7968 FAX:052-654-7997

E-mail: tsuzuki@union.nagovako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会ホームページ URL: <http://www.portecon-chubu.com>
日本港湾経済学会ホームページ URL: <http://port-economics.jp/>
名古屋港管理組合ホームページ URL: <http://www.port-of-nagoya.jp>